



作品1

造形の題目：作品2008-1（永井博士にささげる）Work 2008-1

発表展：美術展2008（ima）長崎

発表場所：長崎ブリックホール

発表年月日：2008年1月20日（日）～2月3日（日）

作者：有田暢夫

報告者：有田信夫

作品の意味：長崎の教会を訪れたとき、永井博士の記録に衝撃を受けた。

その衝撃をインスタレーションで表す。

作品の大きさ：180×180×150（cm）

素材：ミックスメディア（ステンレス＋木＋紙＋鉄）



作品2

造形の題目：作品 2008 - 2 Work 2008 - 2

発表展：日本基礎造形学会作品展

発表場所：九州産業大学美術館

発表年月日：2008年8月21日～2008年8月23日

作品の大きさ：60 × 60 × 18 (cm)

作品の素材：石膏+アルミ+紙+小枝

作品の意味：球が転ばないように網をかばせ、小枝で止めた。



作品3

造形の題目：作品2008 - 3

発表展：第23回アジア国際美術展

発表場所：中国 広州美术学院图书馆都市美術館

発表年月日：2008年12月3日～2009年3月10日

作品の大きさ：60×60×20 (cm)

作品の素材：石膏+小枝+紙+7mmコルク

作品の意味：円柱と球が転ばないように網をかぶせ、小枝で止めた。